

広島大学文学部  
ゼミナール選考 総合問題

開設分野	倫理学
------	-----

平成23年9月3日(土)  
自 14時  
至 15時40分

答案作成上の注意

1. この総合問題は、監督者から指示があるまで開けてはいけません。
2. この総合問題の枚数等は下記のとおりです。  
解答開始の指示後、直ちに下記の枚数を確認してください。

問題枚数 (この表紙を含む)	2枚	解答用紙	2枚
		下書き用紙	1枚

3. 受付番号は、すべての解答用紙の所定の欄に必ず記入してください。
4. 解答は、すべての解答用紙の所定の場所に記入してください。
5. 解答終了後は、解答用紙を番号順に並べてください。
6. 配付した解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
7. 配付した総合問題紙及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
8. 総合問題解答時間中は、監督者の指示に従ってください。

## ゼミナール選考 総合問題

開設分野

倫理学

I 大陸合理論とイギリス経験論とドイツ観念論の特徴について、代表的な人物をあげ、各思想の関係性を述べよ。

II 授業で取り上げたアリストテレスとカントにおけるアートの思考について、概略をまとめたうえであなたの考えを述べよ。

III つぎの英文を読み、以下の問いに答えよ。

Now, the imperative\* mood is the characteristic of Art, as distinguished from Science. Whatever speaks in rules or precepts\*, not in assertions respecting matters of fact, is art; and ethics, or morality, is properly a portion of the art corresponding to the sciences of human nature and society: the remainder consisting of prudence\* or policy, and the art of education.

The Method, therefore, of Ethics, can be no other than that of Art, or Practice, in general: and the portion yet uncompleted, of the task which we proposed to ourselves in the concluding Book, is to characterize the general Method of Art, as distinguished from Science.

\*imperative: expressing authority, expressing an order

\*precept: a rule about how to behave or what to think

\*prudence: being sensible and careful when you make judgments and decisions

1 この文章の著者は、*On Liberty* (『自由論』1859) 等で功利主義思想を展開した人物である。その人物の名前をあげよ。

2 著者は本論で、Art、Science、Ethics、Morality、Practice の関係をどのように語っているか、具体的に述べよ。

3 上記の立場は、授業で取り扱ったカントによるアート理解とどのように異なるかについて述べよ。